

# 令和8年度 入学式

4月9日(木)

令和8年4月9日入学式が行われました。

新入生は、保護者、来賓の皆様、在校生、教職員に見守られながら、会場の席につき、呼名の際に元気な返事をし、新しいスタートへの意気込みを感じました。

新入生のみなさんが精いっぱい学びや部活動に取り組んでくれることを期待しています。

次のページより新入生に向けて送られた校長先生の式辞を掲載します。



## 式 辞

やわらかな 春の風が吹き、塩冶が丘の 桜の花びらが 舞う本日、工雲会会長 多々納 剛人様、学校運営協議会委員 島 充様、PTA副会長 今岡 傑様、そして、ご家族の皆様のご臨席を賜り、令和8年度 島根県立出雲工業高等学校入学式を挙げていただけますことは、本校にとりまして、この上ない喜びであります。高い席からではございますが、心より御礼申しあげます。

ただ今 入学を許可しました157名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校の在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎いたします。また、ご家族の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これまで お子様を育ててこられました皆様にとって、本日のお子様の晴れ姿に、感慨もひとしおのことと存じます。私ども出雲工業高校教職員は、託された責任の重さを感じながら、気持ちを引き締め、お子様の大きい成長を目指して 教育活動に取り組んでまいります。どうか、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

本校は、1944年(昭和19)年1月、島根県立今市工業学校として創立した、歴史と伝統のある学校です。今年で創立82周年を迎え、卒業生は1万6千300名を超え、ふるさと出雲はもとより 我が国の「ものづくり産業」をはじめ、多くの世界で活躍されています。新入生の皆さんには、これまで諸先輩が築いてきた「ものづくりへの誇り」をしっかりと受け継ぎ、未来のふるさと出雲のために、未来の日本国のために、貢献できるよう、自らを高めていただきたいと思います。

ものづくりは、単に形あるものをつくるだけではありません。使う人のことを思い、細部にまでこだわり、粘り強く最善を尽くす、この「誠実」な姿勢や取組こそが、出雲工業高校で皆さんが培っていく「出工ブランド」であります。見えない誰かの笑顔のために、ふるさとや地域の発展のために、自分の力を惜しみなく発揮できる力「出工ブランド」を、高校3年間で身に付けてください。

ここで、本校の卒業生であるお二人を紹介します。三島きりさん、伊藤碧唯さんのお二人です。皆さん、ご存じでしょうか。三島きりさん 平成30年度に本校を卒業し、大学・実業団で空手道を続け、昨年度は、全日本実業団空手道選手権、国民スポーツ大会、全日本空手道選手権の三冠王者を達成した三島きり先輩です。伊藤碧唯さん、令和2年度に本校を卒業し、駒澤大学へ進学し4年間、大学三大駅伝に挑戦し続け、今年の正月 箱根駅伝6区において、魂の力走を見せた伊藤碧唯先輩です。この両名のお話を先日聞く機会がありました。両名の生き方で共通していたキーワードは、「夢をあきらめないこと」、そして「挑戦し続けること」のふたつでした。人の成長や夢の実現には、常に誠実に自分を反省して、未熟なところに矢印を向け、より豊かで、高いレベルを目指すことが必要です。「自らの限界はここまでだ、と簡単にあきらめという線を引かないこと」、「自らの限界に挑戦し続けること」、そうすることで人間の成長は続きます、と二人は話してくれました。チームのために、支援者のために、家族のために、自分のために、そして、見えない誰かのために、自分の力を尽くすことの大切さと美しさをスポーツ競技を通して示してくれたふたりの先輩です。

今日から始まる高校3年間で、皆さんが挑戦する場面、成長する機会はたくさんあります。それらの機会は誰にも、等しく訪れるはずで、その機会を見逃すことなく、挑戦の姿勢を貫いてください。新入生157名の皆さんの健やかな成長と、「夢」実現に向けた挑戦に対して、われわれ教職員は一丸となって支援していきますことをお約束し、式辞といたします。

令和8年4月9日  
島根県立出雲工業高等学校長